FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

BIG JOB DS-230HD

ビッグ ジョブ

使 用 説 明 書

この説明書には、フジフイルム デジタルカメラ DS-230HDの使い方がまとめられています。内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

目　次

4 応用編 再生

はじめに

▶ご使用の前に必ず、「使用上のご注意（➡63ページ）」と別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

必ず事前に正常に動作するか、各防水カバーが確実にしまるかどうか確認してください。

大切な撮影をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

＊万一本製品の取り扱いの不注意により水もれ事故を起こした場合、本製品の損傷、および画像データや撮影に要した諸費用などの保証は、ご容赦ください。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として使用などのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本カメラはクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報技術装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし本カメラをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■防水についてのご注意

本機はJIS 保護等級7の対応をしていますが、水中防水仕様ではないため水中撮影はできません。水中に沈めておくことや、高い水圧での水洗いは避けてください。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

防水についてのご注意

■本機は水中ではお使いになれません

- 水中撮影はできません。機器の水洗い、雨中での撮影は可能です。
- 水中に沈めておくことや、高い水圧での水洗いは避けてください。
- 雨中撮影や水洗いしたあとに、レンズと底面の三脚用ねじ穴やグリップ周辺から水がしみ出てくる場合がありますが、この部分は2重構造となっているため心配はありません。

■本機の水洗いの方法

1. 防水カバー（電池カバー・端子カバー）が閉まっていることを確認してください。
2. バケツなどにためた水道水で洗い、砂や塩分を落としてください（塩分がついていると、金属部分が錆びることがあります）。このとき、水道の蛇口から出る水を直接かけて洗わないでください。
3. 乾いた柔らかい布で水分を十分にふきとってください。

■本機の内部に水滴が入った場合の対処法

1. 本機の電源を切ります。
2. 電池とスマートメディアを取り出して、電池カバー・端子カバーを開けたままにしてください。
決して そのままで使用しないで、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご相談ください。

■カバーを開閉するときのご注意

- 海水や砂が入ることがあるため、浜辺、海上や砂地では本機の開閉はできるだけ避けてください。
- 本機についた水滴や異物（砂やゴミ、頭髪など）が本機内部に入らないように、これらを確実に除去してください。
- 軍手をしたままで開閉しないでください。
- 本製品は気密性が高いため、気圧が変化するとカバーが開けにくくなることがあります。
- カバーを開けたときに、水滴が内部につく場合があります。この場合は、きれいにふきとってからご使用ください。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機外部やレンズ部などに水滴がつく（結露）ことがあります。また逆に、暖かいところから急に寒いところに持ち込んだときなどに、本機内部やレンズ部に水滴がつくことがあります。温度差がある場所を行き来した結果、結露した場合は電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■その他のご注意

- モードレバーは防水構造のため長時間放置しておくと、動作が重くなることがあります。数回動作させると通常の重さに戻ります。

防水パッキンについて

本機の防水性能は、防水パッキンとその接触面で保たれています。これらの部分をぶつけたり、異物をはさみこんだりして傷をつけないようにしてください。

＊防水パッキンは取り外さないでください

浸水の原因となります。異物が付着している場合はふきとってください。ふきとるときは、繊維質のものが残らないようにしてください（指、ゴム手袋などでふくことをおすすめします）。異物がとれないときは、新しいものとの交換を、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションに依頼してください。防水パッキンの交換時期のめやすについては75ページをご参照ください。

カメラの特長 / 付属品

主な特長

- 水洗い防水形（JIS 保護等級7相当）で、水洗い・雨中の撮影が可能（水中撮影不可）
- 高画質　150万画素CCD採用
- 1.8型カラー液晶モニター
- 工事現場写真撮影に便利なワイドレンズ（35mm換算28mm相当）・オートフォーカス
- 広範囲な撮影領域（マクロ撮影機能付き）
- ストロボ：調光センサーによるオートストロボ
- 小型ストロボながら5mの撮影が可能
- 撮る・見る（再生）に徹底した簡単操作レバー（画質モード固定）
- フォルダー選択機能（10個のフォルダーを簡単操作で選択可能）
- 撮影日時の記録・再生機能：撮影日時を自動的に記録（モニターにも表示）
- 日時設定のバックアップが約1週間可能
- 液晶モニターがOFFでも撮影可能枚数・日付・フォルダー番号・電池残量が確認できる液晶表示パネル付き
- 高容量ニッケル水素電池対応
- 大容量メモリーカード・スマートメディア（SmartMedia™）対応
- ExifVer.2.1対応：多くのパソコン向け画像アプリケーションでそのまま利用可能
- DPOF（Digital Print Order Format）対応でプリントが簡単に

＊パソコンへの画像の取り込みはフロッピーディスクアダプターFD-A2B、イメージメモリーカードリーダーSM-R2またはPCカードアダプターPC-AD3Bを使います。

付属品

●お試し用単3形アルカリ乾電池（2本）

＊付属のアルカリ乾電池は、ご購入後すぐに動作などをお試しいただくためのものです。

●ネックストラップ（1本）

●ビデオケーブル

φ3.5mmミニプラグ×ピンプラグ：約1.5m（1本）

●使用説明書（本書 1部）

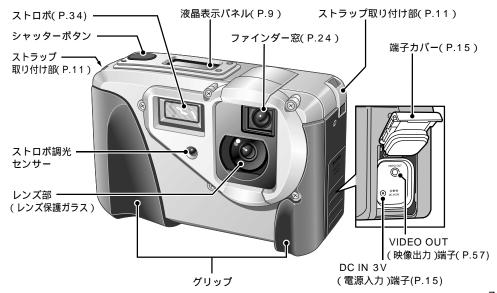
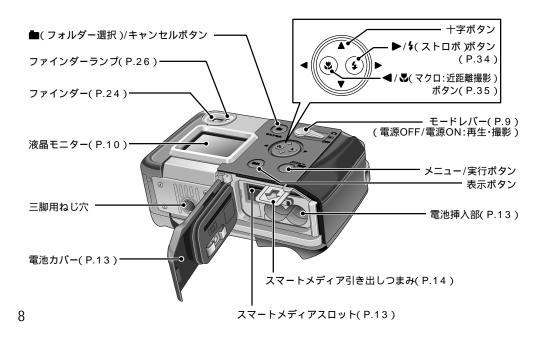
●安全上のご注意（1部）

●保証書（1部）

各部の名称

＊(　)内のページに操作の説明があります。

各部の名称

(フォルダー選択)/キャンセルボタン
ファインダーランプ(P.26)
ファインダー(P.24)
液晶モニター(P.10)
三脚用ねじ穴
電池カバー(P.13)
十字ボタン
▶/(ストロボ)ボタン
(P.34)
◀/(マクロ:近距離撮影)
ボタン(P.35)
モードレバー(P.9)
(電源OFF/電源ON:再生・撮影)
メニュー/実行ボタン
表示ボタン
電池挿入部(P.13)
スマートメディア引き出しつまみ(P.14)
スマートメディアスロット(P.13)
キャンセル
表示
メニュー
実行
OFF

モードレバー

液晶表示パネル

各部の名称

液晶モニターの文字表示例

撮　影

スタンバイ（撮影準備完了）

撮影モード

撮影　スタンバイ　999

標準撮影可能枚数

手ブレ警告

ストロボモード

AFフレーム

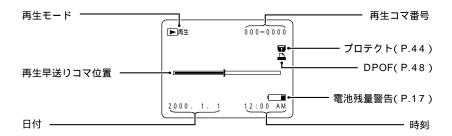
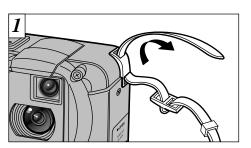
マクロモード

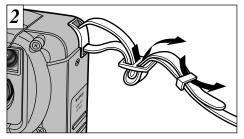
電池残量警告（P.17）

2000. 1. 1　12:00 AM

日付

時刻

再　生

ネックストラップを取り付けます

ネックストラップを、ストラップ取り付け部に通して、取り付けます。反対側も同じように取り付けてください。

ネックストラップ取り付け後は、ネックストラップが外れないことを十分にご確認ください。

❗取り付けかたを間違えると、カメラが落下する場合があります。

スマートメディア™と電池をセットします

スマートメディア™

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。
MG-4SB(4MB)、MG-8SB(8MB)、MG-16SB/MG-16SW(16MB)、MG-32SB/MG-32SW(32MB)、MG-64SW(64MB)

64MBのスマートメディアには、他機種で撮影した場合1000コマを超えて記録可能なことがあります。その場合、本機ではコマNo.の大きいほうから1000コマの画像のみの再生、またはDPOF設定などができます。
「コマNo.の大きいほうから1000コマの画像」の範囲外に再生したい画像がある場合には、不要画像を消去して、全体で1000コマ以下にして、必要な画像を再生してください。
このような複雑な操作を避けるためにも、記録コマ数は、最大1000とすることをおすすめします。

- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡47ページ)。
- 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- 3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。
- スマートメディアについてのご注意は、66ページをご参照ください。

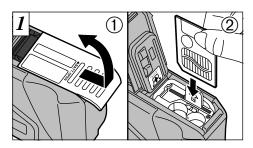
使用する電池

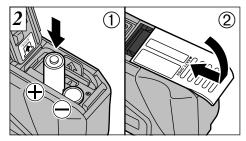
単3形ニッケル水素電池で、同種のものを2本使用します(付属の単3形アルカリ乾電池はお試し用です)。

＊アルカリ乾電池では、液晶モニターを使用時の撮影枚数が極端に減少します。
別売のニッケル水素電池および急速充電器をお使いください。

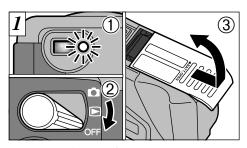
◆電池について◆

- 付属のアルカリ乾電池でもファインダー撮影なら(液晶モニターOFF状態)、ある程度撮影可能です。ただし、アルカリ乾電池の特性上、使用時間が極端に短くなります。また、寒冷地ではご使用になれない場合があります。
- 消耗度に極端な差がある電池2本を、組み合わせて使用しないでください。本機の故障の原因になることがあります。
- ニカド電池・リチウム電池・マンガン乾電池は絶対に使用しないでください。

- 単3形ニッケル水素電池の充電には、別売のニッケル水素/ニカド急速充電器(➡61ページ)が必要です。

①電源が切れていることを確認し、電池カバーを矢印方向にスライドさせてから開けます。
②カメラとスマートメディアの向きを図のようにして、スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。

- 電池カバーに無理な力を加えないでください。
- スマートメディアや電池を交換するときは必ず電源を切ってください。電源を切らないと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。
- スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。
- 電池カバーがぬれている場合は、乾いた柔らかい布でふきとってください。

①電池を表示に従って正しくセットします。
②電池カバーを矢印のように閉めます。

- 各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約半日以上経過していれば、電池を取り出して放置しても、約1日保持されます（約3日間以上経過した場合は最大で約1週間保持）。
電池交換後は、設定をご確認ください。
- ご購入時および長時間電池を抜いて放置した後は、日付設定など各種設定がクリアされてしまいます。電池を入れた状態で約30分以上経過していないと、スマートメディアや電池を交換する際に、各種設定が保持されない可能性があります。
- 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

スマートメディア™を取り出します

①ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。
②電源を切ります（" OFF "にします）。
③必ず電池カバーを上面にして、電池カバーをスライドさせてから開けます。

電池カバーの矢印表記のように、スマートメディア引き出しつまみを止まるところまで引いて、スマートメディアをつまんで取り出します。

❗電源を切らずに電池カバーを絶対に開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

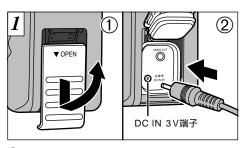
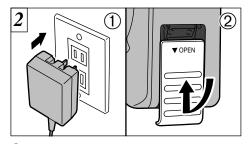
❗電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

❗ファインダーランプが橙色に点灯しているときは、スマートメディアに記録中です（➡26ページ）。電源を切る場合は必ず確認してください。

❗スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

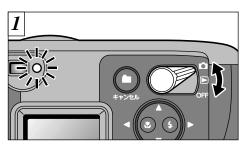
◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

- プリントするときは、48、56ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、56、58〜60ページをご参照ください。

ACパワーアダプターを使います

①カメラの電源が切れていることを確認し、カメラの端子カバーを矢印の方向にスライドさせてから開けます。
②ACパワーアダプター AC-3Vの接続プラグをカメラの“ DC IN 3V ”端子に差し込みます。

①AC-3Vを電源コンセントに差し込むと、準備完了です。
②使用後は、カメラの電源が切れていることを確認してから、AC-3Vの接続プラグをカメラの“ DC IN 3V ”端子から抜き、端子カバーを矢印のように閉めます。

電池の消耗を気にせず撮影・再生するには、専用のACパワーアダプター AC-3V（別売）のご使用をおすすめします。

❗端子カバーがぬれている場合は、乾いた柔らかい布でふきとってください。

電源のON/OFF

電源を入れるには、モードレバーを“ OFF ”から“ 📷 ”撮影モードまたは“ ▶ ”再生モードに合わせます。電源を切るには“ OFF ”に合わせます。

◆オートパワーオフ機能◆

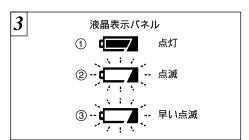
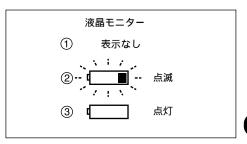
電源を入れたまま下記の時間カメラを放置すると、電源が自動的に切れます。

- 液晶モニターON時 ：約2分間
- 液晶モニターOFF時 ：約5分間

電源を入れ直してください。

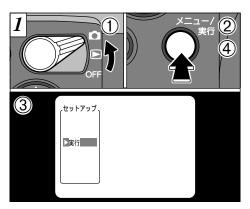
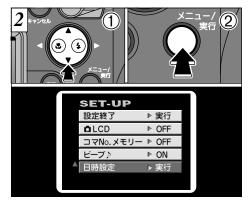
“ 📷 ”撮影モードにすると、ファインダーランプ［緑］が点灯します（［緑］が点灯する前に、ストロボ充電のため約5秒間［橙］で点滅することがあります）。液晶表示パネルに、現在選択しているフォルダー、スマートメディア標準撮影可能枚数などが表示されます。

! 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。

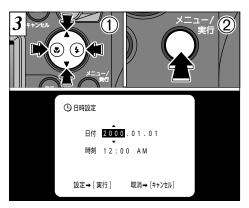
! “ !CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。また、スマートメディアのフォーマットが必要な場合があります。（➡42ページ）

電池残量表示を確認します。
①電池の容量は十分です。
②電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池を交換することをおすすめします。
③電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

電池残量表示を確認します。
①電池の容量は十分です。
②電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池を交換することをおすすめします。
③電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

! 液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください(➡18ページ)。

1

日時を合わせます

①モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、
③セットアップ確認画面が表示されます。
④もう一度、“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、
“ SET-UP画面 ”に切り換わります。

①十字ボタンの“ ▼ ”を押して“ 日時設定 ”を選択し、②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗ SET-UPのメニューについて、詳しくは36ページをご参照ください。

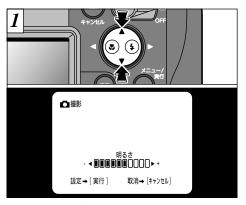
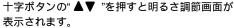
❗ 各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約半日以上経過していれば、電池を取り出して放置しても、約1日保持されます（約3日間以上経過した場合は最大で約1週間保持）。
電池交換後は、設定をご確認ください(➡13ページ)。

①十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”を押して修正します。
②合わせ終わったあと、“ メニュー/実行 ”ボタンを押して設定します。

設定を終了して撮影画面に戻るには、“ ▲ ”で設定終了を選び、“ メニュー/実行 ”ボタンを押してください。

1

! 秒は設定できません。
! 時刻表示で“ 12:00 ”を越えると自動的にAM/PMが切り換わります。

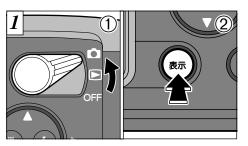
! 時刻を正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

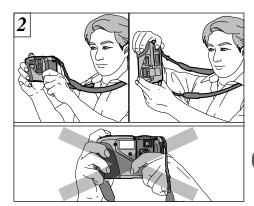
液晶モニターの明るさ調節

十字ボタンの“ ▲▼ ”を押すと明るさ調節画面が表示されます。
“ ▲ ”を押すと明るく（+）なります。
“ ▼ ”を押すと暗く（−）なります。

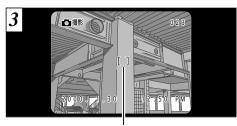
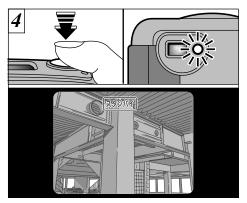
“ メニュー/実行 ”ボタンを押して設定します。

❗液晶モニターがOFFでは設定を変更できません。表示ボタンを押して液晶モニターを表示してから設定してください。

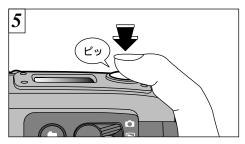
❗設定を変更しない場合は、“ ■ /キャンセル ”ボタンを押してください。

📷 液晶モニターを使った撮影

①モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。
②液晶モニターがOFFのときは、“ 表示 ”ボタンを押すと液晶モニターがONになります。

❗画像データは、フォルダーごとに撮影できます。詳しくは、30ページをご参照ください。
❗液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください(➡18ページ)。
❗レンズ部・ストロボ・ストロボ調光センサーが汚れていないか確認してください。汚れている場合は63ページを参照してレンズ部をきれいにしてください。
❗液晶モニター(📷 LCD)のON/OFFの設定は、36ページをご参照ください。

ネックストラップを首にかけて、液晶モニターを正面から見るように、脇をしめて両手でしっかり構えます。縦位置撮影ではシャッターボタン側が上にくるように構えます。レンズ部・ストロボに、指やネックストラップがかからないようにしてください。

❗撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因となります。

液晶モニターを見ながら、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

シャッターボタンを半押しして液晶モニターに"スタンバイ"と表示（およびファインダーランプ[緑]が点滅から点灯）されたら、ピント合わせは完了です。

- シャッターボタンを全押しした場合は"スタンバイ"の表示は出ません。
- 約50cm以内に近づくと"スタンバイ"と表示されてもピントが合いません。その場合は"マクロ"マクロモードで撮影してください（➡35ページ）。

- 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡20ページ）。

半押しのままシャッターボタンを押し込むと、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

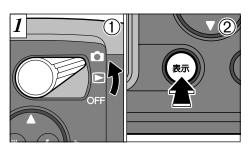
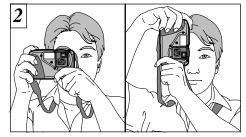
- データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影できません。また、データ記録中は電源を切ったり、電池カバーを開けないでください。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。
- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の標準撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。
- 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。
- 警告表示については、68ページをご参照ください。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

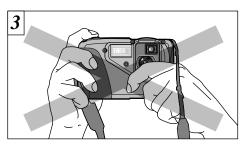
- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が遠くて暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
- 高速で移動する被写体

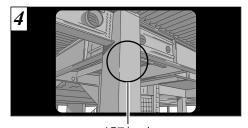
2

ファインダー撮影（省電力撮影）

①モードレバーを“ ”に合わせます。
②液晶モニターがONの場合は“ 表示 ”ボタンを押して液晶モニターをOFFにします。
液晶モニターONの場合と比べ、電池撮影可能枚数が約3〜4倍になります（➡74ページ）。

ネックストラップを首にかけて、脇をしめ、両手でしっかり構えます。縦位置撮影ではシャッターボタン側が上にくるように構えます。

約50cm〜無限遠の撮影が可能です。約50cmより近づいた撮影には“ ”マクロモードを使用してください（➡35ページ）。

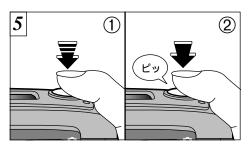
レンズ部が汚れていないか確認してください。汚れている場合は63ページを参照してレンズ部をきれいにしてください。

3

レンズ部やストロボに、指やネックストラップがかからないようにしてください。

4

AFフレーム

ファインダーをのぞき、被写体がAFフレーム全体を満たすようにねらいます。

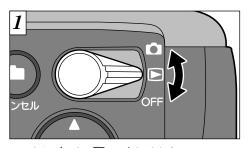
2

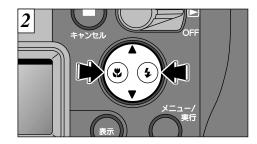
- ファインダー撮影の場合、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AFロック撮影を行ってください (➡35ページ)。

①シャッターボタンを半押ししてファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。
②半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと、"ピッ"と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

! データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影できません。また、データ記録中は電源を切ったり、電池カバーを開けないでください。
! ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。
! 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

◆ファインダーランプ表示について

色	状態	内容
緑	点灯	準備完了
	点滅	AF・AE動作中または手ブレ、AF警告
橙	点灯	スマートメディアに記録中
	点滅	ストロボ充電中
赤	点滅	●スマートメディアについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡68ページ）。

⊡ 画像を見るには(再生)

モードレバーを“ ⊡ ”に合わせます。

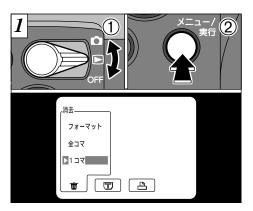
- モードレバーを“ ⊡ ”に合わせたときは、最後に選択したフォルダーの画像が表示されます。
- 画像データは、フォルダーごとに撮影できます。詳しくは、30ページをご参照ください。
- このとき液晶表示パネルには“ Pb ”(プレイバック)と表示されます。

十字ボタンの“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。

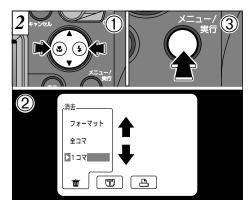
- “ ◀ ▶ ”を約3秒間押し続けると、液晶モニターに早送り“ ━━━━━ ”の表示が出ます。
- 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください(➡20ページ)。
- “ 表示 ”ボタンを押すたびに、「文字+画像表示」→「画像のみ表示」→「マルチ再生画面表示」の3つの状態を切り換えます。

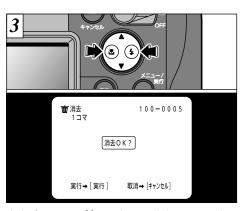
◆再生できるデータ◆

本機で記録した画像データ、またはその他のDCF対応カメラ(320×240～1800×1200ピクセル)で、3.3V仕様のスマートメディアに記録した画像データが再生できます(非圧縮画像とフォルダーNo.が110以上の画像は再生できません)。DS-250HDおよびDS-260HDで記録された画像データ、ピクチャータームPT-10で受信した画像データは、本機では再生できません。

2

▶ ➡ 🗑 画像を消すには（1コマ消去）

①モードレバーを“ ▶ ”に合わせ、
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❗メニューを終了するには“ ■/キャンセル ”ボタンを押してください。
❗再生モードのメニューについて、詳しくは42～55ページをご参照ください。
❗画像データは、フォルダーごとに撮影できます。詳しくは、30ページをご参照ください。

①十字ボタンの“ ◀▶ ”で“ 🗑 消去 ”を選びます。
②“ ▲▼ ”ボタンで“ 1コマ ”を選び、
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

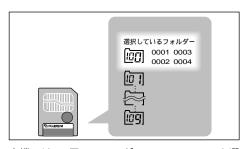
❗全コマ消去、フォーマットについては42ページをご参照ください。

十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

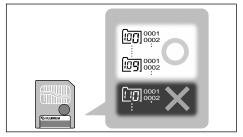
“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ 消去OK? ”が表示されます。
1コマ消去をやめるには“ ■ /キャンセル ”ボタンを2回押してください。再生画面に戻ります。

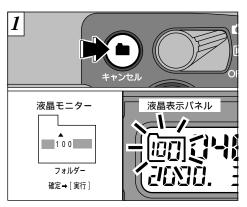
2

! 1コマ消去をやめたい場合は、“ ■ /キャンセル ”ボタンを押してください。

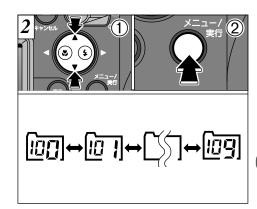
! 消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。
! “ PROTECT ”が表示された場合、プロテクトを解除する必要があります(➡44ページ)。

フォルダー選択機能を使ってみる

本機では10個のフォルダー(100〜109)を選択できます。各フォルダーに分けて撮影ができ、フォルダーごとに再生および消去ができます。また、この10個のフォルダーを用途別(撮影場所別・撮影曜日別・被写体別など)に使い分けることで、パソコン取り込み時のデータ整理が便利になります。

- 撮影・再生する前に、目的のフォルダーを選択しているか確認してください。
- 工場出荷時設定はフォルダー「100」を選択しています。

本機ではNo.100〜109までのフォルダーのみ使用できます。他機種で撮影したスマートメディアでは、フォルダーNo.が110以上の場合があり、再生できません。またその場合、撮影可能枚数が減少します。

- “全コマ消去・全コマプロテクト・DPOF全コマ指定/解除”はフォルダーごとに行います。選択中のフォルダー以外には設定(実行)できません。
- フォーマットはフォルダー単位ではなく、スマートメディア全体が初期化されますので、注意が必要です(➡42ページ)。
- フォーマットする際には注意が必要です。DCF対応機種で再生するか、パソコンを使って内容を確認してください。

〈フォルダーの切り換え・変更をする場合〉

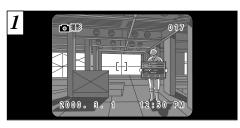
液晶表示パネルの左上に表示される数字[100]は、現在選択中のフォルダーを示しています。
“■ フォルダー選択/キャンセル”ボタンを押すと、液晶モニターに選択フォルダー画面が表示されます。また、液晶表示パネルでは選択中フォルダー表示が点滅します。

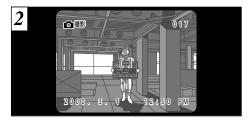
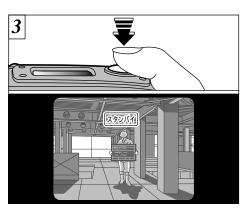
! 液晶モニターがOFFの場合（ファインダー撮影時）は、モニターがONになります。

①十字ボタンの“▲▼”を押すと、選択中フォルダーが切り換わります。
②“メニュー/実行”ボタンを押して設定します。

! “▲▼”ボタンを1秒以上連続して押していると、フォルダーが連続的に切り換わります。
! 再生時は、複数のフォルダーが存在するときのみ選択できます。

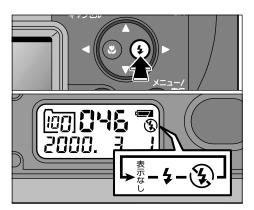
2

AE(オートエクスポージャー)ロック撮影

1

背景が明るいときに黒板を持った人物を撮影しようとしています。モニターの中心付近が極端に明るい構図では、被写体が暗く撮影されます。その場合は撮影したい部分に露出を合わせる必要があります。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを動かします。

そのままシャッターボタンを半押しすると、AE・AFロックします。液晶モニターに“ スタンバイ ”と表示（ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯）されるのを確認します。

シャッターボタンを半押し（AE・AFロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

- 露出合わせ（AE）・ピント合わせ（AF）は、AFフレーム付近を目標にして同時に行われます。半押しすることで、設定がロックされます。
- AFロックについては、35ページをご参照ください。
- AE・AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AE・AFロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AE・AFロックをうまく活用しましょう。

ϟ ストロボモード

撮影の目的に合わせて、3種類のストロボモードを選べます。"ϟ"ストロボボタンを押すたびに、液晶表示パネルにオート（表示なし）→ϟ →Ⓢ の順に表示され、最後に表示したモードが選択されます。

❗塵や埃の多い環境でストロボ撮影を行った際に、ストロボの反射で白点が発生することがあります。

オートストロボモード（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

ϟ ストロボ強制発光モード

逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

Ⓢ ストロボ発光禁止モード

ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、ストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡62ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮ることができます。

❗暗い場所で発光禁止モードで撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。また、暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。
❗手ブレ警告については、26ページ、69ページをご参照ください。
❗電源を切ってもストロボモードの設定は保持されます。

マクロモード（近距離撮影）

マクロモードでは、約10cm〜約60cmの範囲で近距離撮影ができます。また、撮影の状況に応じてストロボモードを設定してください。

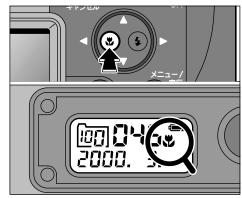
◆AF（オートフォーカス）ロック撮影◆

- ピントを合わせたい被写体が、AFフレームから外れている（中央にない）場合は、被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。
- そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）しピントを合わせます。
  このとき、液晶モニターに“スタンバイ”と表示（ファインダーランプ[緑]が点滅から点灯）されるのを確認します。
- シャッターボタンを半押し（AFロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

❗ＡＦロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

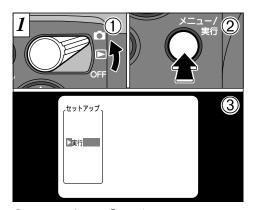
❗シャッターボタンを全押しした場合は“スタンバイ”の表示は出ません。

❗暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

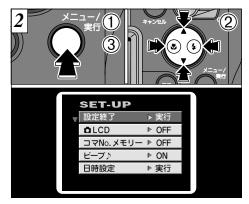
❗マクロモードでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

“ ”マクロボタンを押すと液晶表示パネルおよび液晶モニターに“ ”が表示され、マクロモードになります。もう一度“ ”マクロボタンを押すと、マクロモードが解除されます。

❗液晶モニターは自動的にONになります。

❗電源を切るとマクロモードが解除されます。

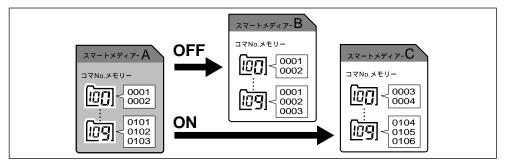
3

セットアップ

①モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、
③セットアップ確認画面が表示されます。

❗電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

①“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、SET-UP画面に切り換わります。
②“▲▼ ”で項目を選択し、“◀▶ ”で設定を変更して決定できます(日時を除く)。
③設定を変更し終わったら、メニューの“ 設定終了 ”を選択して“ メニュー/実行 ”ボタンを押し、撮影画面に戻ります。

❗日時の設定方法は18ページをご参照ください。

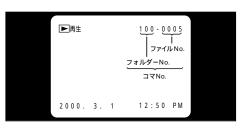
項目名	表　示	工場出荷時	内　　容
設定終了	実行	―――	セットアップモードを終了します。
📷 LCD	ON/OFF	OFF	撮影モードにしたときに、液晶モニターを自動的にONにするかOFFにするかを切り換えます。
コマNo.メモリー	ON/OFF	OFF	コマNo.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます(➡38ページ)。
ビープ♪	ON/OFF	ON	操作したときの音を“ 出す ”か“ 出さない ”に切り換えます。“ OFF ”にすると音が鳴りません。
日時設定	実行	2000.1.1	日付・時刻を設定できます(➡18ページ)。

コマNo.メモリー

コマNo.メモリーはフォルダー（No.100〜109）のファイルNo.を管理する機能です。

OFF：スマートメディアごとに「ファイルNo.0001」から撮影

ON ：複数のスマートメディアを使用しても、同じNo.のフォルダー内ではファイルNo.が連続するように撮影

"ON"にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

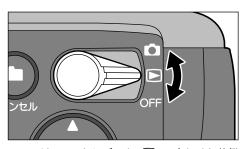
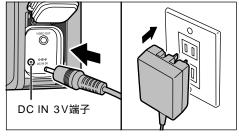
- フォルダーについては30ページをご参照ください。
- コマNo.メモリー機能をフォルダーごとにON/OFFできません。全フォルダーがONかOFFになります。
- 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がフォルダー内にあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。
- スマートメディアを交換したあとは、正しいフォルダーを選択しているか確認してください。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上の3けたはフォルダーNo.です。

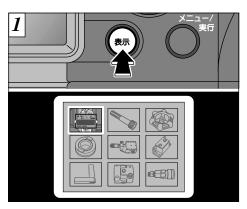
ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えて記録できません。

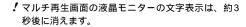
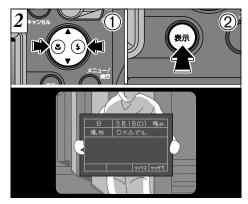
新しく記録するには、フォルダー内の画像をすべて消去し、コマNo.メモリーをOFFにしてください。ファイルNo.0001から順に撮影されます。

- スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってから電池カバーを開けてください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNo.メモリーが機能しません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

3

応用編　再生では

ここでは、モードレバーを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能を紹介します。このあとの操作説明は、モードレバーが“ ▶ ”に合っていることを前提に説明します。
また、再生するときは目的のフォルダーを選択していることを前提とします。

また、コンセントが近くにある場合は、画像を再生している最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター AC-3V（別売）の使用をおすすめします（➡15ページ）。

スマートメディアに1000コマを超える画像が記録されている場合は、12ページをご参照ください。

マルチ再生

“ 表示 ”ボタンを2回押すと、マルチ再生（9コマ）画面になります。

①十字ボタンの“ ◀ ▶ ”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。

②選んだ画像を大きく見たい場合は、再度“ 表示 ”ボタンを押してください。

! マルチ再生画面の液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。

! マルチ再生では“ ▲▼ ”ボタンを押してもカーソルは動きません。

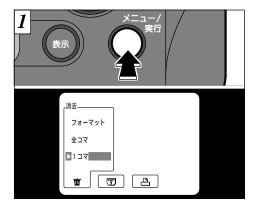
! マルチ再生は、1コマ消去、1コマプロテクト、DPOF1コマ設定、DPOF確認/解除で画像を選択する場合に便利です。

再生メニュー 🗑 全コマ消去/フォーマット

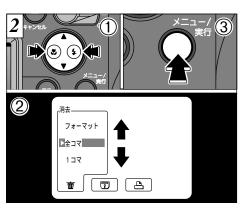
●全コマ消去
選択中のフォルダーの中のすべての画像を消去します。その他のフォルダーには影響しません。

＊プロテクト（➡44〜47ページ）した画像は残ります。

●フォーマット
フォルダーに関係なく、スマートメディア内の全データを消去します（初期化）。
“ CARD NOT INITIALIZED ”や“ CARD ERROR ” と表示された場合に使用します。

＊プロテクトした画像も消えます。

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

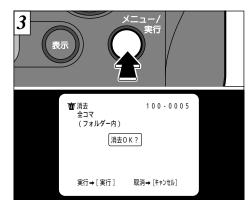
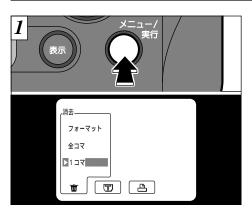
“ CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再セットしてください。それでも表示される場合は、フォーマットをします。

メニューを終了するには“ ■ /キャンセル ”ボタンを押してください。

①“ ◀ ▶ ”で“ 消去 ”を選びます。
②“ ▲▼ ”で“ 全コマ ”か“ フォーマット ”を選びます。
③メニュー/実行 ”ボタンを押します。

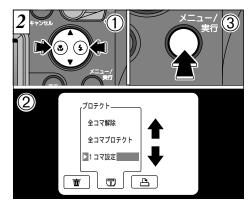
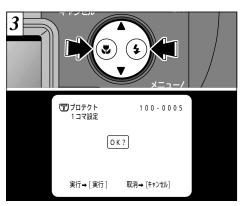
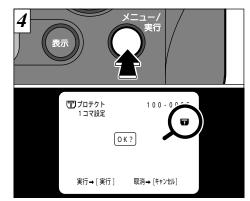
1コマ消去は28ページをご参照ください。

フォーマットするとフォルダーに関係なく、スマートメディアの中のすべての画像が消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ メニュー/実行 ”ボタンを押して実行します。

全コマ消去/フォーマットをやめたい場合は、“ /キャンセル ”ボタンを押してください。

再生メニュー 1コマプロテクト設定/解除

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

プロテクトとは：
画像を誤って消去しないように設定することです。

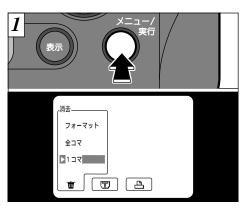
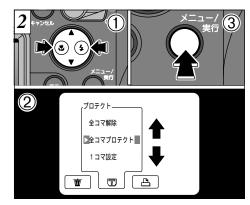
- メニューを終了するには“ ■/キャンセル ”ボタンを押してください。
- メニュー画面が表示されているときに“ 表示 ”ボタンを押すと、マルチ再生画面になります(➡41ページ)。画像を選ぶときに便利です。

①“ ◀▶ ”を押して“ プロテクト ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押して“ 1コマ設定 ”を選びます。
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

“◀▶”でプロテクトしたい画像を選びます。

“メニュー/実行”ボタンを押すと画像がプロテクトされ、右端に“ ”マークが表示されます。プロテクトを解除するには、もう一度“メニュー/実行”ボタンを押します。

❗1コマプロテクト設定/解除をやめたい場合は、“ /キャンセル”ボタンを押してください。

❗プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。

❗プロテクトされていても、“フォーマット”するとすべての画像が消去されます(➡42ページ)。

4

再生メニュー 全コマプロテクト設定/解除

" メニュー/実行 "ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

①" ◀ ▶ "を押して" プロテクト "を選びます。
②" ▲▼ "で" 全コマプロテクト "か" 全コマ解除 "を選びます。
③" メニュー/実行 "ボタンを押します。

❗メニューを終了するには" ■/キャンセル "ボタンを押してください。

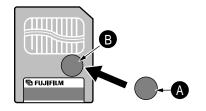
実行を確認する画面が表示されます。OKなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。

❗選択中のフォルダー内の画像すべてがプロテクトされます。

❗プロテクトされていても、“フォーマット”するとすべての画像が消去されます（➡42ページ）。

❗全コマプロテクト設定/解除をやめたい場合は、“■/キャンセル”ボタンを押してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。

＊必ず付属のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは66ページをご参照ください。

4

再生ﾒﾆｭｰ DPOFについて

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

スマートメディア

DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

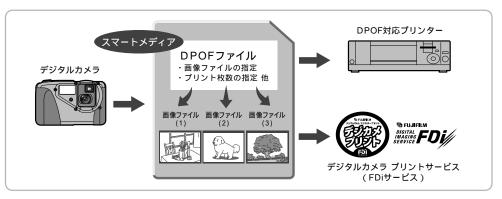
デジタルカメラ

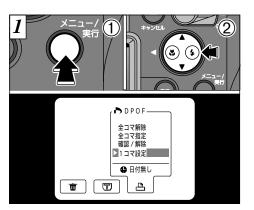
画像ファイル（1） 画像ファイル（2） 画像ファイル（3）

DPOF対応プリンター

FUJIFILM
デジカメから、フジカラープリント
デジカメプリント
FDi SERVICE

FUJIFILM
DIGITAL IMAGING SERVICE FDi

デジタルカメラ プリントサービス
（FDiサービス）

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録することができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高品質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

再生メニュー 凸 DPOF 日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。

①“ メニュー/実行 ”ボタンを押して、液晶モニターにメニューを表示させます。

②“ ◀ ▶ ”を押して“ 凸DPOF ”を選びます。

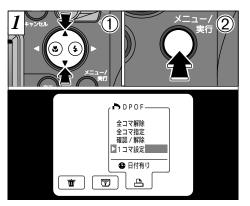
2
キャンセル
①
②
メニュー/実行
DPOF
全コマ解除
全コマ指定
確認／解除
1コマ設定
日付有り

①“ ▼ ”で“ 日付 ”を選びます。

②“ ◀ ▶ ”を押すと、“ 日付有り ”か“ 日付無し ”が設定できます。その後、設定を変更するまですべてに有効です。

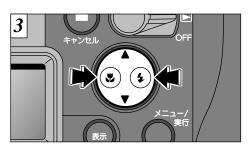
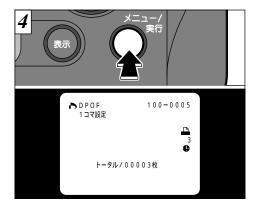
❗メニューを終了するには“ ■/キャンセル ”ボタンを押してください。

❗他の設定の前に、必ず日付有り/無しの設定を行ってください。

再生メニュー 凸 DPOF 1コマ設定

①"▲▼"で"1コマ設定"を選びます。
②"メニュー/実行"ボタンを押します。

①"◀▶"で設定するコマを表示させます。
②"▲▼"でプリント枚数を指定します。

- 設定の前に、必ず日付の有り/無しを設定してください。
- 1コマ設定のあとに全コマ指定を行うと、1コマ設定で設定したコマ数は解除されます。

- 指定できるプリント枚数は99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
- 画像を選ぶときはマルチ再生（➡41ページ）すると便利です。

“ ◀ ▶ ”で次のコマを表示し、続けてプリント枚数を指定できます。

〈実行する場合〉

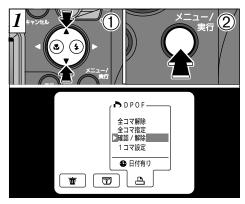
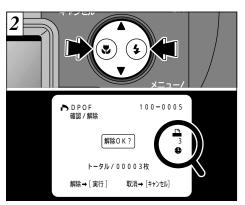
設定が終わったら、必ず“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。確定したコマには“ 🖶 ”とプリント枚数、日付設定有りの場合は“ 🕒 ”が表示されます。

4

再生メニュー 凸 DPOF 1コマ設定

〈キャンセルする場合〉

キャンセルした場合は、選択中のコマの設定のみ無効になります。選択中のコマ以外の設定はキャンセルされません。

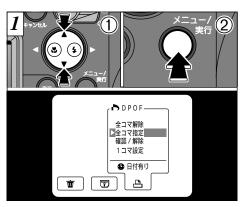
再生メニュー 凸 DPOF 確認/解除

①“ ▲▼ ”で“ 確認/解除 ”を選びます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

“◀▶”を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけを確認できます。各コマの設定は画面の右端に表示されます。

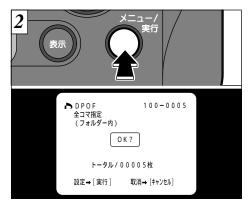
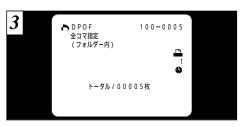
- 画像を選ぶときはマルチ再生（➡41ページ）すると便利です。
- フォルダー内のすべてのプリント設定が解除されている場合は、黒い画面になります。
- “トータル”は全フォルダー内で指定したプリント枚数の合計です。

プリント設定を解除するには、解除したい画像を表示し“メニュー/実行”ボタンを押します。

- 設定を変更しない場合は、“ ■ /キャンセル”ボタンを押してください。

4

再生メニュー 凸 DPOF 全コマ指定/全コマ解除

①"▲▼"で"全コマ指定"か"全コマ解除"を選びます。
②"メニュー/実行"ボタンを押します。

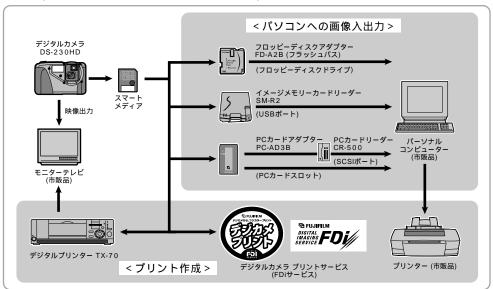
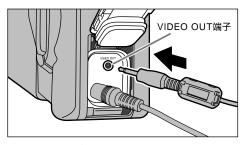
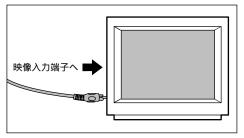
実行を確認する画面が表示されます。OKなら"メニュー/実行"ボタンを押して実行します。

- "全コマ指定"は、すべての画像を1枚ずつプリントする指定をします。
- 1コマ設定での指定は解除されます。
- 同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は、999コマまでです。999コマを超えた指定をすると"DPOF FILE ERROR"警告が出ます。

液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

“ トータル ”は全フォルダー内で指定したプリント枚数の合計です。

4

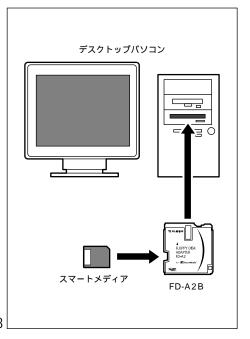
システムアップ機器（別売）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。詳しくは57〜61ページをご参照ください。

（平成12年2月現在）

テレビに画像を映す場合

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの端子カバーを開けて、“ VIDEO OUT ”端子にビデオケーブル（付属品）のミニプラグを接続します。

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影・再生を行ってください。

- コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプターAC-3V（別売）を接続することをおすすめします。
- ビデオケーブルを接続すると、液晶モニターは使用できません。

- テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

フロッピーディスクアダプター FD-A2Bを使用する場合

●カメラからスマートメディアを取り出し、フロッピーディスクアダプター（フラッシュパス）FD-A2Bに差し込みます。

●これをパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入すると、フロッピーディスクでファイルを扱う場合と同じ要領で、カメラで撮影した画像データを取り扱うことができます。

●Windows98、Windows95（DOS/V機）、Windows95/OSR2（NEC PC-9821シリーズ）、Power Macintosh/MacOS7.6.1～Mac OS8.1で利用可能です。

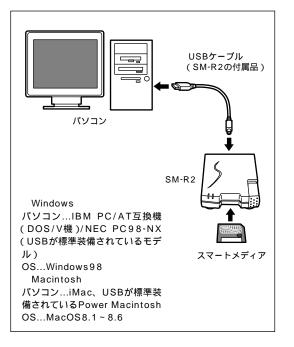
❗ PCカード経由や、USBインターフェース経由で接続するタイプのフロッピーディスクドライブではお使いになれません。

❗ LS-120やHiFDなど、高容量タイプのフロッピーディスクドライブではお使いになれません。

❗ Power Macintoshでご使用の場合は読み込み専用となります。

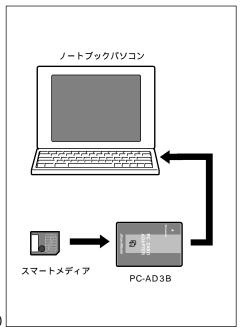
❗ 画像の閲覧や加工、プリントには別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

イメージメモリーカードリーダー SM-R2を使用する場合

■Windows
パソコン…IBM PC/AT互換機（DOS/V機）/NEC PC98-NX（USBが標準装備されているモデル）
OS…Windows98
■Macintosh
パソコン…iMac、USBが標準装備されているPower Macintosh
OS…MacOS8.1～8.6

- **カメラからスマートメディアを取り出し、イメージメモリーカードリーダーSM-R2に差し込みます。**
- **パソコンの外付けドライブのファイルを扱う場合と同じ要領で、カメラで撮影した画像データを取り扱うことができます。**

! USBインターフェースを標準装備したパソコンでのみ利用できます。

! 画像の閲覧や加工・プリントには、別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

PCカードアダプター PC-AD3Bを使用する場合

- **カメラからスマートメディアを取り出し、PCカードアダプターPC-AD3Bに差し込みます。**
- **これをノートパソコンなどのPCカードスロットに挿入すると、PCメモリーカードでファイルを扱う場合と同じ要領で、カメラで撮影した画像データを取り扱うことができます。**
- **Windows95/98、Macintosh/漢字Talk 7.5.5〜MacOS9.0で利用可能です。ただし、機能拡張のPC Exchange、またはFile Exchangeが必要です。**

! PCカードTYPE II 対応のPCカードスロット内蔵、またはPCカードリーダー/ライターが接続されたパソコンで利用可能できます。

! 画像の閲覧や加工、プリントには別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成12年2月現在）

▶使いかたや接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

●スマートメディア™

別売のスマートメディアです。以下のものがお使いいただけます。

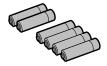
- ● MG-4SB ： 4MB、3.3V仕様
- ● MG-8SB ： 8MB、3.3V仕様
- ● MG-16SB：16MB、3.3V仕様
- ● MG-32SB：32MB、3.3V仕様
- ● MG-16SW：16MB、3.3V仕様（ID付き）
- ● MG-32SW：32MB、3.3V仕様（ID付き）
- ● MG-64SW：64MB、3.3V仕様（ID付き）

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

●ACパワーアダプター AC-3V

長時間の撮影・再生時にお使いください。

●単3形ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1500」「ニッケル水素1600」

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
2本パック「型名 HRAA/2B」または、4本パック「型名 HR-AA/4B」をお買い求めください。

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

ニッケル水素1600 2本を約85分間で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（日本国内使用専用）。

用語の解説

AF・AEロック：このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF・AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF・AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

Exif（イグジフ）ファイル：Exifは、JEIDA（日本電子工業振興会）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Groupの略。
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸張（画像の復元）したときの画質は劣化します。

オートパワーオフ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、カメラを操作しないと自動的に電源をOFFします。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池・スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ保護ガラス、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ保護ガラス、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のサービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

●本機には、単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池、単3形ニカド電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので、使用できません。
●アルカリ乾電池は銘柄により容量の差があり、本機に付属の銘柄のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命(使用時間)がかなり短いものがあります。液晶モニターOFFでご使用ください。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。
●火中に投入したり、加熱したりしないでください。
●プラス ⊕ 極とマイナス ⊖ 極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
●水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
●変形させたり、分解、改造をしないでください。
●外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
●落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
●液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
●高温、多湿の場所に保管しないでください。
●幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
●カメラに電池を入れるときは、極性 ⊕ と ⊖ に注意して表示どおりに入れてください。

●新しい電池と使用した電池(充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池)、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
●長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください(電池を取り外して放置した場合、各種設定が工場出荷設定に戻ります)。
●使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
●電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」のことです。
●寒冷地(＋10℃以下)では電池の性能が低下し、使用可能時間が短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。

⚠ **万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。**

⚠ **電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。**

■電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池（ニッケル水素電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定以外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ニッケル水素電池の電極に、皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。この場合は、電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃後、一度使いきってから充電してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプターAC-3V（別売、EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。AC-3V以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。いったん電源を切ってから行ってください。
- 電池が無い状態でACパワーアダプターを抜くと、日時の保持はしません。日時を設定し直してください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。

記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■データ保持について

以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき

＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき

＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアに掛からないように、はってください。
- 万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。

■主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃〜＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37×0.76×45mm（幅/厚み/高さ）

警告表示 ▶液晶モニターや液晶表示パネルに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示		警告内容	処　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
		カメラの電池の容量が少ない。	電池を交換するか、充電してください。
!NO CARD	- - -	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディアを入れるか、スマートメディアの向きを直してください。
!CARD NOT INITIALIZED	Err	スマートメディアがフォーマット(初期化) されていない。	スマートメディアをフォーマットしてください。
!CARD ERROR	Err	•スマートメディアの接触面(金色の部分) が汚れている。 •スマートメディアが壊れている。 •スマートメディアのフォーマットが異常。	スマートメディアの接触面(金色の部分)を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
!CARD FULL	FLO	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	撮影モード PPP 再生モード Pb	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
!FRAME ERROR	Pb	正常に記録されていないデータを再生した。	再生することはできません。

警告表示		警告内容	処　　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
!DPOF FILE ERROR	Pb	DPOFのコマ設定で999コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
!UNMATCHED DATA	Pb	カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。	再生することはできません。
!FILE NO. FULL	FL 1	現在選択中のフォルダーにこれ以上記録できない。	コマNo.メモリー機能をOFFにしたあと、別のフォルダーかスマートメディアに切り換えて撮影してください。
(手ブレ警告マーク)	—	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボを強制発光にしてください。または三脚を使用してください。
!PROTECT	Pb	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトを解除してください。
⚠ AF	—	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	•暗い場合は被写体から1.5m以上離れて撮影してください。 •AFロック撮影をしてください。
DPOFファイル再設定 OK?	Pb	DPOFファイルにエラーがあります。または、他の機器で設定したDPOFファイルです。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“メニュー/実行”ボタンを押してください。
!CAN'T EXECUTE	Pb	フォルダーに画像がないのにDPOF指定しようとした。	フォルダーに画像がないときはDPOF指定はできません。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●新しい電池と交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふく。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が入っていない。 ●電池が消耗している。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。

症　　状	原　　因	処　　置
ストロボ撮影ができない。	●モードレバーの設定位置がずれている。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●ファインダーランプが橙色で点滅中にシャッターボタンを押した。	●モードレバーを正しい位置に設定する。 ●ストロボをオートまたは強制発光モードにする。 ●ファインダーランプが緑色の点灯になってからシャッターボタンを押す。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。 ●ストロボをオートまたは強制発光モードにする。 ●新しい電池と交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロモードで遠景を撮影した。 ●レンズが結露している。	●レンズを清掃する。 ●マクロモードを解除する。 ●水滴・曇りがなくなるまで待つ。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。

故障とお考えになる前に

症　　状	原　　因	処　　置
全コマの消去ができない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトを解除する。
全コマ消去したが記録枚数が増えない。	●他のフォルダーに画像が記録されている。	●各フォルダーの記録を消去する。
カメラのボタンやレバーを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードレバーの設定位置がずれている。 ●電池が消耗している。	●電源（電池）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードレバーを正しい位置に設定する。 ●新しい電池と交換する。
電源を入れても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードレバーの設定位置がずれている。	●モードレバーを正しい位置に設定する。
撮影した画像が再生できない。	●撮影時のフォルダーと違うフォルダーを選択している。	●正しいフォルダーを選択する。

主な仕様

システム

●**型式**
デジタルカメラBIG JOB DS-230HD
●**記録メディア**
スマートメディア（3.3V仕様）
●**スマートメディア標準撮影枚数**
＊撮影枚数は被写体により多少の増減があります。かつ、撮影枚数はスマートメディア容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	1280×1024
画像圧縮率	約1/8
データサイズ	約330KB
MG-4S（4MB）	11
MG-8S（8MB）	23
MG-16S（16MB）	46
MG-32S（32MB）	94
MG-64S（64MB）	189

●**記録方式**
Exif Ver.2.1 JPEG準拠/DPOF対応
●**記録画素数**
1,280×1,024ピクセル
●**撮像素子**
1/2.2型正方画素原色インターライン方式CCD
総画素数：約150万
●**撮像感度**
ISO 125相当
●**レンズ**
フジノン単焦点レンズ F2.6/F7.2
●**焦点距離**
f＝5.0mm（35mmカメラ換算 28mm相当）
●**ファインダー**
実像式光学ファインダー、視野率：約80％
●**露出制御**
TTL64分割測光、プログラムAE
●**ホワイトバランス**
オート
●**撮影可能範囲**
標準　：約50cm〜無限遠
マクロ：約10cm〜60cm
●**電子シャッター**
可変速　1/4秒〜1/2,000秒（メカニカルシャッター併用）
●**絞り**
F2.6/F7.2 自動切り換え
●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**
1.8型 11万画素 D-TFD
●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.3m〜約5m
発光モード　：オート/強制発光/発光禁止

主な仕様

入・出力端子

●**VIDEO出力端子**
ミニ（φ3.5mm）ピンジャック（1）

●**DC入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-3V接続

電源部、その他

●**電源**
単3形ニッケル水素電池2本使用（別売）
単3形アルカリ乾電池2本使用（付属）
専用ACパワーアダプター AC-3V使用（別売）

●**電池撮影可能枚数（**充電池をフル充電した場合**）**
＊常温でストロボ使用率50％の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動があります。

電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
ニッケル水素電池 **HR-AA（ニッケル水素1600）**	約 110枚	約 400枚
アルカリ乾電池	約　20枚	約 100枚

●**使用条件**
温度0℃～＋40℃　湿度80％以下（結露しないこと）

●**本体外形寸法**
127×80×53mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含まず）

●**本体質量**
約370g（電池、スマートメディア含まず）

●**撮影時質量**
約425g（電池、スマートメディア含む）

●**付属品**
6ページをご覧ください。

●**別売アクセサリー**
56～61ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

●保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
●保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ
お買上げ店、またはフジサービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間
本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意
●保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
●お買上げ店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
●修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
●修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
●修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
●修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
●修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預かりしてから通常7〜14日位をご予定ください。

◆防水パッキンの交換時期のめやす◆
● 防水パッキンに傷やひび割れがあるとき
● 防水パッキンの変色や変形が現われたとき（使いかたによって交換時期に差異がありますが、約1年をめやすにし、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションに依頼してください）。
＊消耗品の交換は有償となります。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
■型名　：BIG JOB DS-230HD
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日

富士写真フイルム株式会社

●修理の受付は…

札幌フジサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL (011) 222-3973
仙台フジサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL (022) 265-2149
東京フジサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL (03) 3436-1315
名古屋フジサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL (052) 202-1851
大阪フジサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL (06) 6260-0915
広島フジサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL (082) 256-3511
福岡フジサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL (092) 281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
・東京フジサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け付け渡し業務のみとなります。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00）TEL (03) 3406-2981

●富士フイルム製品の情報は…

FUJIFILM ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp

この用紙は、再生紙を使用しています。

BB10916-100(1)

FGS-002101-FG